

70	産業労働局	沖ノ鳥島漁業操業支援対策
事業概要	<p>沖ノ鳥島周辺海域での漁業操業支援、資源の維持増大を図るための魚類種苗の放流、漁場の開拓、漁場調査・監視を積極的に推進することにより、同島周辺海域における永続的経済活動を実現し、排他的経済水域を維持する。また、沖ノ鳥島に関するPR・普及活動を行い、都民の理解を醸成する。</p>	
これまでの経過	<p>平成16年12月 定例記者会見で知事が「日本の排他的経済水域を実証するため、経済活動としての漁業操業を東京都が支援していく。」と発表</p> <p>平成17年4月 同島周辺海域で延縄による漁業操業を開始（小笠原島漁協） 都調査指導船「みやこ」による漁場調査開始</p> <p>5月 知事視察（現地：5月20日）</p> <p>10月～11月 同島周辺海域の漁場等調査（委託）</p> <p>平成18年1月 沖ノ鳥島利活用連絡会の開催（庁内関係各局で構成）</p> <p>4月 同島周辺海域で立て縄による漁業操業を開始（小笠原島漁協） 都調査指導船「みやこ」による漁場調査</p> <p>5月 都民から沖ノ鳥島に関する映像資料大系の制作費として1億円の寄付</p> <p>6月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流 沖ノ鳥島に関する講演会と展示の実施</p> <p>平成19年1月 大水深中層浮魚礁の設置</p> <p>1月～2月 同島周辺海域の漁場等調査（委託）</p> <p>2月 漁業調査指導船「興洋」の竣工及び竣工式の開催（3月）</p> <p>4月 「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査開始</p> <p>5月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>11月 沖ノ鳥島フォーラムの開催 ドキュメンタリー映画「奇跡の島 沖ノ鳥島」の上</p> <p>平成20年4月 映</p> <p>5月 「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査開始</p> <p>11月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流 沖ノ鳥島フォーラムの開催（船の科学館）</p> <p>平成21年2月 沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信開始</p> <p>4月 「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査開始</p> <p>平成22年1月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>2月 沖ノ鳥島フォーラムの開催（船の科学館）</p> <p>4月 「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査開始</p> <p>平成23年1月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流</p> <p>2月 沖ノ鳥島フォーラムの開催（船の科学館）</p> <p>4月 「興洋」による漁場調査・大水深中層浮魚礁の効果調査開始</p> <p>平成24年1月 同島周辺海域にシマアジ稚魚20万尾を放流 沖ノ鳥島フォーラムの開催（東京国際フォーラム）</p>	
現在の進行状況	<p>（1）小笠原島漁協への操業支援（18年4月～立て縄による漁業操業）</p> <p>（2）海洋深層水汲上装置設置に伴う省コスト化並びに今後の事業化に向けた検証</p> <p>（3）沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信</p>	
今後の見通し	<p>（1）小笠原島漁協への漁業操業支援（継続）</p> <p>（2）漁業調査指導船「興洋」による漁場の調査・監視（継続）</p> <p>（3）沖ノ鳥島フォーラムの開催（継続）</p> <p>（4）沖ノ鳥島映像ライブラリーのインターネット配信（継続）</p>	
問い合わせ先	産業労働局 農林水産部 水産課	電話 03-5320-4848